

世界三大建機展「bauma 2025」に出展 ～ロックドリル・ユニック製品を展示し、およそ 3,500 人が来場～

当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）とユニック部門を担う古河ユニック株式会社（東京都千代田区、社長：山川 賢司）は、このたび、ドイツのミュンヘンにて開催された国際的な建設機械展示会の「bauma 2025」に海外販売会社を通じて出展しました。期間中に、両社のブース来場者数の合計は、およそ 3,500 人となりました。

bauma 2025

- ・開催日：2025 年 4 月 7 日～13 日
- ・会場：ドイツ・ミュンヘン見本市会場（ミュンヘン、ドイツ）
- ・概要：bauma（バウマ）とは、アメリカの CONEXPO（コネクスポ）、フランスの INTERMAT（インターマツ）と並び世界三大建機展の一つで、1954 年から開催している歴史と実績がある展示会です。近年は 3 年に一度、ドイツ・ミュンヘンで開催されています。主催社の発表によると、今年は 200 か国以上から 60 万人以上が来場しました。

ロックドリル製品ブース

【展示製品】

油圧ブレーカ 7 機種、油圧クローラドリル『HCRL110-E5』



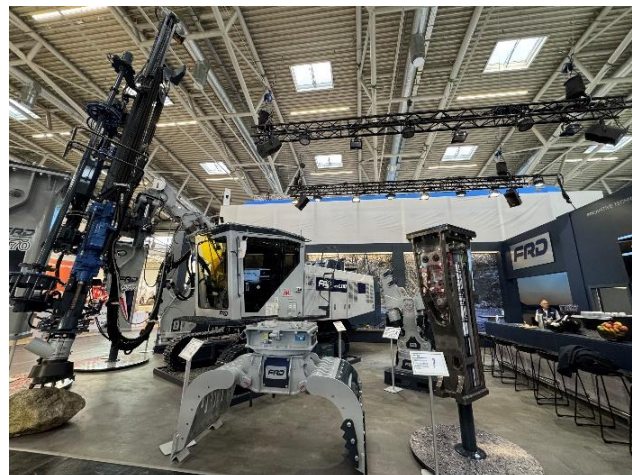
ブースの様子①



ブースの様子②



油圧ブレーカ『Fxj1070』



油圧クローラドリル『HCR L110-E5』

〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・展示会に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL：03-6636-9501
古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社 国内営業部営業推進課 TEL：03-6636-9524

【展示会の様子】

今回の注目ポイントは、超大型油圧ブレーカ『Fxj1070』です。フラッグシップ機として、打撃性能、低騒音性能を高次元で両立した油圧ブレーカであり、現場生産性とオペレーターの作業環境改善が強く望まれる欧州市場において、活躍が期待できます。

本展示会では、拡販活動中の大型油圧ブレーカを複数展示し、多くの有効な商談機会を得ることができました。古河ロックドリルでは、攻める市場と位置づける欧米において、油圧ブレーカ、油圧クローラドリルなどの製品 PR をより一層進め、今後の販売拡大へとつなげていきます。

ユニック製品ブース

【展示製品】

ミニ・クローラクレーン 7 機種 12 台



ブースの様子③



ブースの様子④



新型ミニ・クローラクレーン『UM445C』



新オプション 8t 吊仕様のミニ・クローラクレーン
『URW706C』

【展示会の様子】

今回の注目ポイントは、4t 吊りの新型ミニ・クローラクレーン『UM445C』です。環境負荷低減のニーズに応えるリチウムイオンバッテリーを搭載し、欧州市場で主流になりつつある油圧ジブでの作業性も大幅に向上しています。

本展示会では、『UM445C』に加え、URW706C の新オプション 8t 吊仕様などの製品を展示し、多くの商談機会が得られ、販売会社や顧客からは製品要望や市場動向などの情報を得ることができました。古河ユニックでは、今後も、欧米市場でのミニ・クローラクレーンの販売拡大を目指して営業活動を推進していきます。

〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・展示会に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL : 03-6636-9501

古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL : 03-6636-9522

古河ユニック株式会社 国内営業部営業推進課 TEL : 03-6636-9524

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：従業員数：〈連結〉2,908人 〈単独〉205人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和36）年6月

資本金：4億円

従業員数：524人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<http://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフト」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山川 賢司

事業内容：1961年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クローラクレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：2005（平成17）年3月

資本金：2億円

従業員数：480人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawaunic.co.jp/>